

静岡県消防学校訓練安全管理  
検討結果報告書

平成27年3月26日

静岡県消防学校訓練安全管理検討委員会

## 1 はじめに（消防学校の教育訓練におけるリスクに対する考え方）

消防の任務の性格上、任務には常に危険が潜在している。そのための知識や技術を習得する消防学校における訓練においても同様である。従って、訓練中のリスクをゼロにすることは難しい。

また、消防学校においては、入学前の学生の体力、その他の資質は多様であるが、やはり任務の性質上、訓練のレベルは下位の学生に合わせたものになっていないことから、消防学校の訓練において、一定のリスクは不可避となっている。

今後行われる消防学校の訓練全体に関する安全管理においては、このことを踏まえ、リスクを伴う訓練の意義と事故の可能性という両義性を念頭に置き、今までの訓練のレベルを維持しつつ、リスクとその帰結をコントロールするという発想に基づいて行わなければならない。

## 2 委員会の構成

委員長	村越 真 静岡大学教育学部・防災総合センター教授
委員	鉄 多加志 東海大学海洋学部海洋フロンティア教育センター専任講師
委員	鈴木 栄 有限会社ダイビングベル代表取締役
委員	浅羽 正人 静岡県警察学校現任教養課長
委員	青山 雅行 静岡県消防長会（静岡市消防局消防総務課長）
委員	長岡 健一 ゼネラル・マウンテンガイド・アカデミー代表（国際山岳ガイド）

## 3 委員会の経緯

### (1) 概要

平成26年8月12日(火)から平成27年3月13日(金)にかけて実施した静岡県消防学校訓練安全管理検討委員会（以下「検討委員会」という。）において、第1回、第2回は水難訓練に特化した審査を実施し、消防学校へ検討結果を提案した。

3回以降は、消防学校が実施している教育訓練（主に初任科）について実科訓練の視察及び消防学校の安全管理方法の審査等を実施した。その結果を検討委員会の意見として、消防学校へ提案する。

(2) 委員会の開催日時

第1回	平成26年8月12日(火)	10時00分から12時00分
第2回	平成26年8月25日(月)	10時00分から12時00分
第3回	平成26年11月7日(金)	10時00分から12時00分
第4回	平成27年1月19日(月)	13時00分から15時20分
第5回	平成27年3月13日(金)	10時00分から12時00分

4 検討委員会の意見

(1) 訓練に係るリスク一覧表の作成

個々の訓練について、考えられる危険を洗い出した上で、「教育訓練安全基準」との対応を明確にして、危険防止対策等を一覧表にまとめ、訓練に係るリスク管理に活用することを提案する。

(2) 「教育訓練安全基準」の改善の提案

「教育訓練安全基準」について、訓練が実施されているのに掲載のない項目、内容がわかりにくい表現がされている項目等が散見されるので以下の改善を提案する。

- ア 指導者の留意事項について、外部に訓練を依頼する項目を追加する。
- イ 学生等への留意事項について、学生相互の安全配慮の項目を追加する。
- ウ 安全点検の基準について、熱中症対策の項目を追加する。
- エ 施設設備の管理について、訓練塔の雨天時の使用を明確にする。
- オ ロープ訓練について、自信のない結索の表現を変更する。
- カ 実施している訓練項目を追加する。

(3) ヒヤリハット集の蓄積と活用を提案する。